

令和4年 **10**月の**思いやり**通信

秋



大阪交野に脱炭素の街 関電系、星田駅北側に住宅 600 戸

エネルギー収支「ゼロ」 宅配拠点やEVシェア

* 関電不動産開発が、J R 学研都市線の星田駅近くで脱炭素をテーマにした街づくり。

- ・ 戸建て住宅とマンションを合わせた新築約 600 戸を省エネ、創エネ対応に。
- ・ 宅配サービスなども導入。
- ・ 甲子園球場 7 個分の土地を開発。
- ・ 本格販売は 2023 年 5 月ごろから。
- ・ 戸建て全戸を「Z E H (ゼロ・エネルギー・ハウス)」とします。
- ・ 2 棟開発する総戸数 380 戸程度の分譲マンションも太陽光パネルを設置。
- * パナソニックホームズの戸建て住宅は 6000 万円弱で売れ行きは好調。
- * 戸建てエリア周辺に共有棟を建設し、住民交流の拠点とします。
- * カーシェアリング用に日産自動車の電気自動車 (E V) 「リーフ」を設置。
- ・ 災害時にはリーフのバッテリーを蓄電池として使い、照明やスマートフォンの充電に使用します。
- * 共有棟は荷物の「ラストワンマイル」の拠点にも。
- ・ 運送会社が荷物を共有棟に運び、関電グループが出資するウィルポートが各住戸への配送を担います。
- ・ 住宅にはセンサー付きの宅配ボックスを設置。
- * 関電セキュリティ・オブ・ソサイエティの防犯サービスを各住戸に導入。
- ・ 児童の位置情報を保護者と共有する見守りサービスも提供。

(2022 年 9 月 29 日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

